

# 通期業績予想修正と業績改善策

 日立電線株式会社

平成20年10月30日

## 市場環境の急変

世界的な金融危機による景気後退

液晶パネルの生産調整

DRAMの価格の下落

半導体関連需要の低迷

北米を中心とした自動車販売の低迷

# 1. 通期業績予想修正の概要

## (1) 売上高予想の修正

(単位 億円)

	今回 予想	前回 予想	前回予想との 主な差異・乖離
電線・ ケーブル	2,655	2,820	◆銅価下落の影響(約120億円) 90万円→60万円/トン
情報通信 ネットワーク	790	785	
高機能材料	1,920	2,160	◆銅価下落の影響(約90億円) 90万円→60万円/トン ◆TABの売上不振 (前回予想370億円→275億円)
その他	35	35	
合計	5,400	5,800	

(注)セグメント間の内部売上高・振替え高を消去した後の数値を記載

通期業績予想の前提 銅価:60万円/トン 為替:100円/ドル

# 1. 通期業績予想修正の概要

## (2)営業利益予想の修正

(単位 億円)

	今回 予想	前回 予想	前回予想との 主な差異・乖離
電線・ ケーブル	55	95	◆期末銅評価損 約16億円 ◆電子機器用電線の採算悪化
情報通信 ネットワーク	50	60	
高機能材料	▲100	5	◆期末銅評価損 約10億円 ◆TAB、化合物半導体、自動車 用部品、伸銅品の採算悪化
その他	5	5	
合計	10	165	

(注)通期業績予想の前提 銅価:60万円/トン 為替:100円/ドル

## 2. 足下の業績改善策

### (1)TAB事業の環境変化に対応する緊急施策

- ①液晶用COFの一部設備の休止、生産拠点の早期集約検討
- ②メモリー用TABへの設備転換
- ③検査工程の海外シフト 等

### (2)海外生産拠点の再編成

- ①北米自動車市場の需要減退に対応する生産体制の構築
- ②電子機器用電線生産拠点の整理・統合等

### (3)設備投資計画の一部凍結

### (4) その他設備の廃滅却等

- (1) 新たなマーケット環境に合わせた事業戦略の再構築
- (2) 事業ポートフォリオの入替えによる経営効率の改善

**成長事業分野**  
エレクトロニクス  
無線・放送・情報  
自動車

- ◆ 半導体市場向けに偏ったポートフォリオの見直し
- ◆ TABの抜本的再構築
- ◆ 自動車市場向けではハイブリッド車向け等、環境対応テーマへ集中

**基盤事業分野**

- ◆ 電線・ケーブル等の収益力再強化
- ◆ ブレーキホースの生産体制効率化

**新事業分野**

- ◆ 環境・新エネルギー分野での新たな中核事業の育成

本資料の平成21年3月期の業績予想等の数値は、平成20年10月30日現在の業績予想または目標であり、当社が本資料作成時点において合理的と判断する一定の前提に基づいて算出しております。したがって、実際の業績は予想・目標と大きく異なることがあります。その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア)における経済状況
- ・急激な技術変化、新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及びグループ会社の能力
- ・製品・材料市場、製品・材料市況の変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・製品・材料需給、製品・材料市場及び為替相場等の変動に対する当社及びグループ会社の能力
- ・自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場変動

(著作権について)

この資料のいかなる部分についても、その著作権その他の一切の権利は、日立電線株式会社に属しており、方法のいかんを問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

(お問い合わせ先)  
総務部広報グループ 秋山・坪内  
電話 03-6381-1050